

担当教員 伊藤敦規				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DRSc01	授業形態 演習	単位 2
キーワード 米国先住民、博物館		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 アメリカ文化研究				
科目名称：英語 Lecture (American Studies)				
科目の概要：日本語 アメリカ先住民と博物館				
科目の概要：英語 Native American and Museum				
科目の目的： アメリカ文化研究の一環として、米国における米国先住民文化の研究について触れ、知識を深め、受講者の研究地域や研究対象としている民族集団の実情と比較して考察する。				
学習成果・習得する技能や知識： 米国における米国先住民文化の研究について触れ、知識を深め、受講者の研究地域や研究対象としている民族集団の実情と比較して考察できるようになる。				
成績評価方法・基準： 授業への出席、討論への参加度、レポート等によって総合的に判断する。				
授業内容： 授業の前半では、『北アメリカ先住民の社会経済開発』（岸上伸啓編、明石書店）および『展示する人類学——日本と異文化をつなぐ対話』（高倉浩樹編、昭和堂）の中から関連する論文を読み進めながら、北米という地域研究や人類学的な博物館研究における諸問題の実態や実践事例を探る。 授業の後半では、受講者と相談しながら米国先住民と博物館の関係、およびそれらに関連する具体的なトピックを絞り込み、英語文献を含む関連文献の読解を勧め、本授業のテーマをさらに掘り下げる。				
日程： 受講生と協議により定める				
実施場所： 国立民族学博物館、4階、第3演習室				
使用言語： 日本語				

その他使用言語：

英語

準備学習：

授業終了時に示す課題についてレポート等を作成すること。

関連科目・履修条件：

博物館人類学についての基礎的および専門的知識を有することが望ましい。比較文化学専攻の「博物館研究特論」の単位を習得していることが望ましい。

教科書・必読書：

岸上伸啓編『北アメリカ先住民の社会経済開発』、明石書店。

高倉浩樹編『展示する人類学——日本と異文化をつなぐ対話』、昭和堂。

参考書・その他の教材：

文献については受講者と相談して適宜決める。

備考：

地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可